

# 令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(桜ヶ丘小学校)

## 平均正答率

### 1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
桜ヶ丘小	上回った	上回った	同等	上回った	上回った	下回った
埼玉県	51.9	56.9	56.7	62.6	53.4	50.9

### 2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
桜ヶ丘小	6-B	7-C	7-C	5-B	5-A	6-C
埼玉県	5-B	6-B	7-C	4-A	5-B	6-B

### 3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
桜ヶ丘小		3	-1		2	0
埼玉県		1	0		1	1

## 児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
		桜ヶ丘小	埼玉県	桜ヶ丘小	埼玉県	桜ヶ丘小	埼玉県
深谷の子の誓い	・将来の夢や目標を持っている	92.4	91.2	89.2	82.5	89.7	80.4
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	87.3	79.3	86.9	77.6	77.0	72.3
	・自分からはっきり挨拶をすることができる	81.0	75.9	69.0	77.6	78.1	77.9
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができる	84.8	78.5	91.7	82.4	94.2	84.8
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる	88.6	82.7	89.3	86.7	93.1	84.5
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	55.7	47.8	54.7	46.2	52.9	46.2
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	65.9	55.6	75.0	58.8	70.0	60.0
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	26.6	31.4	16.7	24.9	21.8	19.9
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	74.7	75.2	81.0	77.4	78.2	79.8
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	89.9	73.5	84.5	71.1	70.1	61.1
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	79.8	73.3	76.2	69.3	67.8	67.1
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	89.8	82.1	77.4	80.0	82.8	82.0
	・国語や算数の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた(2項目の平均として)	23.4	16.9	7.8	16.7	11.5	22.3
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	51.9	23.1	55.9	25.8	43.7	26.6
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	92.4	84.8	90.5	88.7	94.3	90.4
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	97.3	92.0	94.0	92.9	95.4	93.7
	・学級での生活は楽しい	96.2	94.8	95.3	92.5	83.9	91.6

## 【質問紙分析】

- ・「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童の割合が高いのは、学校生活全般で、目標を立て、振り返りをする実践を繰り返し行っているからと考えられる。
- ・「地域の歴史や自然に関心をもっている」と回答した児童の割合が県と比べ高い。渋沢栄一翁に関するふるさと教育の成果である。地域行事への参加にも繋げていきたい。
- ・「勉強は将来役に立つ」と8割程度の児童が考えているにも関わらず、「勉強することが楽しい、好き」と感じている児童は2割程度である。「わかった」「もっと知りたい」という場면을意図的計画的に設けることを継続していく。

## 伸びが見られた学級・教科での取組

### 【学級】

- ・授業の中で、考えを書く時間を意図的に確保した。全く手がつかない児童には、ヒントカードなどを用意して、だれでも書ける、書くことへの抵抗感を小さくする手立てをとった。
- ・社会などでの資料の読み取りについては、教科横断的にデータの活用を強化した。
- ・活字に触れる機会を多くとり、読むことに抵抗感をなくした。(読書を充実させた。)
- ・文章を読む前に問いの文を把握することで、正答率が高くなった児童が多かった。

### 【国語】

- ・5年生の国語で伸びが見られたのは、どの授業においても書く活動を行い、書いた内容を見取って次の授業に生かした結果だと考えられる。
- ・5年生の国語「言葉に関する問題」で伸びが見られたのは、授業で言葉の意味を丁寧に扱ったり、学習タイムを使って復習したりするなど、機会を捉えて取り組んだ結果だと考えられる。
- ・4年生の国語は、埼玉県平均をかなり大きく上回った。ICT機器の効果的な活用や小テスト等の取組を続けた結果だと考えられる。

### 【算数】

- ・5年生の算数で伸びが見られたのは、夕焼け計算道場で基礎的基本的な技能を身に付けられた児童が多かった結果だと考えられる。
- ・4年生の算数は、埼玉県平均を大きく上回った。学習規律が整っている中で集中して学習してきたこと、学級全体で取り組む練習問題終了後に、個に応じた練習問題を進めてきた結果だと考えられる。

## 一人一人をより伸ばすための取組

- ・課題が見られた国語の「文法や慣用句・敬体常体などの問題」は、扱う時数としては少ないため、学習タイムなどを使って時間を確保し、系統的に学校全体で取り組んでいきます。
- ・課題が見られた5年生国語の「事例に注目して文章の内容を捉える問題」では、学級活動を軸として相手が伝えたいことを考えながら話を聞いたり、文章を要約したりする学習に取り組んでいきます。
- ・課題が見られた6年生国語の「熟語の構成を理解する問題」や「語の意味を理解し適切に使う問題」では、漢字の意味や文章の中での使われ方から理解できるように、授業の中で意識した読み取りを進めていきます。
- ・4年生・6年生は、埼玉県・本校とも「資料やデータの読み取りの問題」に課題が見られたので、教科横断的に活用して、読み取りの力を高めていきます。
- ・5年生・6年生は、「説明する問題」に課題が見られたので、自分で立式し記述する練習問題を多く取り入れたり、日常的に解き方の説明を書く習慣をつけたりするなど、応用問題に慣れる取組を行います。
- ・読み取る力を高めることを学校全体で共有し、語彙を増やす、多読する、要約する、を意識して授業や学校生活に取り入れます。